

様式1(第7条関係)

# 記入例

記号 第 号  
令和6年12月27日

福岡県知事 殿

提出日はそのままにすること。

- ・代表者本人の署名以外は、必ず押印すること
- ・開設者が法人の場合は、法人の住所、名称を記入し、法人印を押印すること。

補助事業者) 住所 ○○郡○○町○○一丁目1-1  
 名称 ●●産婦人科医院  
 代表者 ●●●●  
 ※記名押印または署名

6年度 福岡県産科医等確保支援事業費補助金交付申請書

福岡県産科医等確保支援事業費補助金について、福岡県産科医等確保支援事業費補助金交付要綱第7条の規定に基づき、下記のとおり、関係書類を添えて申請します。

金額は、別紙1-2の「県補助所要額」と一致させること。(※自動入力)

1 申請金額 金 670,000 円

2 補助金所要額調(別紙1(補助事業者が市町村の場合は別紙1-1、分娩施設の場合は別紙1-2))

3 産科医等確保支援事業計画書(別紙2、別紙2-(1)、別紙2-(2))

4 分娩費用(正常分娩)内訳表(別紙3)

5 誓約書(別紙4)

6 添付書類

- (1) 分娩施設の概況書(パンフレット等)
- (2) 就業規則又はこれに類するもの(雇用契約等)
- (3) その他参考資料

- ・分娩費用の領収書等の控えの写し
- ・補助金の交付を受ける銀行口座の通帳の写し(通帳の見開き部分の写し)
- ・役員名簿
- ・連絡先登録票 など

基本的にD欄と同じ金額

補助金所要額調

記入例

施設名	総事業費 (A)	寄附金その他の 収入額 (B)	差引事業費 (A)-(B) (C)	対象経費の 支出予定額 (D)	基準額 (E)	選定額 (F)	県補助所要額 (G)
	円	円	円	円	円	円	円
●●産婦人科	2,784,000	0	2,784,000	2,784,000	2,010,000	2,010,000	670,000

別紙2に記入した  
分娩手当支給(見込)額と一致  
(※自動入力)

別紙2に記入した分娩取扱(見込)  
件数に10,000円を乗じた額  
(※自動入力)

- (注) 1 A欄は、当該事業に係る部分のみを記入すること。  
 2 D欄は、当該年度の分娩手当支給(見込)額の総額を記入すること。  
 3 E欄は、10,000円に分娩取扱(見込)件数を乗じた額を記入すること。  
 4 F欄は、D欄の額とE欄の額とを比較して少ない方の額を記入すること。  
 5 G欄は、C欄の額とF欄の額とを比較して少ない方の額に、3分の1を乗じて得た額を記入すること。ただし、算定された額に1,000円未満の端数を生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

産科医等確保支援事業計画書

**記入例**

施設の開設者について  
「個人」又は「法人」の別を記入。

区分	施設名	所在地	開設主体	一般的な分娩費用(円)	分娩取扱(見込)件数(件)	支給対象者: 1分娩あたり単価	分娩手当支給(見込)額(円)
診療所	●●産婦人科	〇〇群〇〇町〇〇一丁目 1-1	個人	450,000	201	産科医:8千円 (異常分娩1万円) 助産師:8千円	2,784,000

(注) 1 区分欄について

病院、診療所及び助産所の別を記入する。

2 一般的な分娩費用欄について

- ・正常分娩1分娩あたりの入院から退院までに一般的に分娩費用として徴収する額を記載する。
- ・妊産婦が任意に選択できる記念品、特別料理等についてはこれに含めないが、全病室個室の場合の個室料金や食事料などは、これに含める。

3 分娩取扱(見込)件数欄について

- ・4月1日から3月31日までの間で分娩手当の支給対象となる分娩件数の見込みを記載すること。
- ・異常分娩しか手当の支給対象としていない場合などは、正常分娩の件数は含めないこと。
- ・双子の場合は2件で計上して差し支えない。ただし、別紙1の対象経費には実際に分娩施設での支給方法に応じて計上すること。(実際に1件しか支給しない場合は、基準額に合わせて対象経費を2倍としないこと。)
- ・1回の分娩を複数の医療従事者で取り扱った場合でも1件として計上する。

4 支給対象者:1分娩あたり単価欄について

- ・分娩手当を支給対象とする者と、その支給単価について記載すること。
- ・正常分娩と異常分娩で単価が変わる場合などは全て記載すること。枠内に入らない場合は給与規程等の添付でも可。

5 分娩手当支給(見込み)額欄について

- ・実際に産科医等に支給される年間の手当の支給(見込)の総額を記載する。
- ・産科医等以外に支給される手当は含めないこと。

6 市町村が補助事業者である場合、1施設1行として記入すること。

別紙3に記載した、分娩費用合計と一致させる。(※自動入力)

就業規則、雇用契約等に定められた1分娩あたりの手当の額を記入。(規則等の写しを添付)

別紙2-(1)に記載した、分娩件数、手当支給額とそれぞれ一致させる。(※自動入力)

別紙2-(1)

令和6年度分娩取扱い件数及び手当支給の見込み

施設名		●●産婦人科	
	分娩件数	手当支給額(円)	
令和6年4月から令和6年11月までの支給実績 (A)	134	1,856,000	
令和6年12月から令和7年3月までの支給見込み(B) (※B=A÷2)	67	928,000	
計(A+B)	201	2,784,000	

4月～11月までの手当支給額の合計及びその支給に対応する分娩の件数を記入する。  
(件数及び手当支給額は、別紙2-(2)と一致)

この件数、手当支給額を、別紙2の「分娩取扱(見込)件数」と「分娩手当支給(見込)額」欄に記入する。  
(※自動入力)

内訳は別紙2-(2)のとおり

※令和6年12月～令和7年3月の支給見込みについて  
原則として、4月～11月の支給実績のそれぞれ2分の1で見込むものとする。  
(端数の処理は、分娩件数は小数点第1位を切り上げ、手当支給額は、千円未満を切り上げすること。)  
ただし、その値が、過去の実績又は具体的な分娩の取扱い見込みに比べて過小又は著しく過大であると考えられる場合には、独自の方法により見込んだ件数、手当支給額を計上して差し支えない。

産科医等確保支援事業実績内訳書

記入例

施設名 ●●産婦人科医院

4月から11月までに支給された分娩手当に対する分娩を記入。

※支給方法：前月16日から当月15日の実績に基づいて当月の25日に支給 (開設者～4人目)

分娩 件数	分娩		支給額計(円)	(開設者) 産科医 助産師		(被雇用者1) 産科医 助産師		(被雇用者2) 産科医 助産師		(被雇用者3) 産科医・助産師		(被雇用者4) 産科医・助産師	
	年月日	出生時刻		氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名		
			支給額(円)	支給年月日	支給額(円)	支給年月日	支給額(円)	支給年月日	支給額(円)	支給年月日	支給額(円)	支給年月日	支給額(円)
1	令和6年3月16日	08:18	16,000	8,000				8,000	令和6年4月25日				
2	令和6年3月28日	14:00	16,000			8,000	令和6年4月25日	8,000	令和6年4月25日				
3	令和6年4月1日	17:48	8,000			8,000	令和6年4月25日						
4	令和6年4月10日	02:03	16,000			8,000	令和6年4月25日	8,000	令和6年4月25日				
5	令和6年4月15日	09:32	16,000	8,000				8,000	令和6年4月25日				
6	令和6年4月16日	12:19	16,000			8,000	令和6年5月25日	8,000	令和6年5月25日				
7	令和6年4月26日	21:22	8,000					8,000	令和6年5月25日				
8	令和6年5月1日	03:58	16,000			8,000	令和6年5月25日	8,000	令和6年5月25日				
9	(記入例 中略)	:											
128	令和6年11月3日	22:23	16,000			8,000	令和6年11月25日	8,000	令和6年11月25日				
129	令和6年11月4日	12:46	16,000			8,000	令和6年11月25日	8,000	令和6年11月25日				
130	令和6年11月5日	19:28	16,000			8,000	令和6年11月25日	8,000	令和6年11月25日				
131	令和6年11月9日	02:06	16,000			8,000	令和6年11月25日	8,000	令和6年11月25日				
132	令和6年11月10日	23:46	16,000	8,000				8,000	令和6年11月25日				
133	令和6年11月15日	04:21	8,000					8,000	令和6年11月25日				
134	令和6年11月15日	20:05	8,000			8,000	令和6年11月25日						
135	:	:											
136	:	:											
137	:	:											
138	:	:											
139	:	:											
140	:	:											
計	---	---	1,856,000	440,000	---	776,000	---	640,000	---	---	---	---	---

手当の支給方法を記入  
 (例1): 前月分の実績に基づき当月の〇〇日に支給  
 (例2): 当月分の実績に基づき当月末に支給  
 (例3): 前月16日から当月15日の実績に基づいて当月の〇〇日に支給

この様式に今回記入するのは、令和6年4月1日から令和6年11月30日までに支給された分娩手当である。

よって、「支給年月日」欄は、令和6年4月1日から令和6年11月30日までの間の日付となる。

1件ごとの「支給額」は、別紙2に記載した「1分娩当たり単価」及び就業規則、雇用契約書等に定められている分娩手当の額と一致するものであること。

分娩手当以外の手当等(交通費など)を含めて記入しないこと。

産科医又は助産師以外に対して支給している分娩手当は記入しないこと(看護師等に支給されている分は補助の対象外)。

開設者について分娩手当見合い額を計上する場合は、Q&Aの4～6番、8～9番を踏まえて行うこと。

件数、支給額計は、別紙2-(1)に記入する「令和6年4月から令和6年11月までの支給実績」欄の内容と一致する。

注1 「産科医・助産師」欄には、それぞれ該当する箇所には○印を付すこと。  
 注2 産科医又は助産師を雇用している場合、開設者の支給額欄には、この被雇用者に対する支給相当額を記載して差し支えない。この場合、支給年月日欄は斜線を入れること。  
 なお、産科医又は助産師を雇用している場合、この被雇用者に手当の支給がなければ、開設者は補助対象とならない。

上記のとおり相違ありません。  
 記載内容が事実と相違する、あるいは交付要件に該当しなくなり、交付を受けた補助金の返納が生じることとなった場合は、補助金を返納します。

日付は変更しないこと

令和6年12月27日

施設名 ●●産婦人科医院  
 代表者氏名 ●●●●●

開設者が法人の場合は、法人の住所、名称を記入すること。

分娩費用（正常分娩）内訳表

①産科医療補償料、②新生児管理保育料、  
③出生証明書はこの欄に計上する。

単位：円

施設名	分娩（管理・介助）料	入院費用	胎盤処理料	処置・注射・検査料等	分娩費用合計
●●産婦人科	100,000	100,000	100,000	150,000	450,000

- (注) 1 一分娩当たりの費用を記入すること。なお、一般的に入院から退院までの分娩費用として徴収する金額を記入するものとし、妊産婦が任意で選択できる付加サービス料等については含めないこと。  
 2 欄に記入しきれない場合には、費用の内訳がわかる資料の添付に代えて差し支えない。  
 3 市町村が補助事業者である場合、1施設1行として記入すること。

令和6年度中の分娩に対する分娩費用の請求書又は領収書(控)の写しを1枚添付する。  
(この様式に記入した金額と同じか、額が近似する標準的な内容のものを添付)

誓 約 書

令和6年12月27日

福岡県知事 殿

開設者が法人の場合は、法人の住所、名称を記入すること。

所在地 ○○郡○○町○○一丁目1-1
名称 ●●産婦人科医院
代表者氏名 ●● ●●

福岡県産科医等確保支援事業費補助金の交付申請に当たり、申請者及び下記の役員等(申請者の役員及び当該補助金の交付に係る施設の管理者をいいます。以下同じ。)は、下記のことを誓約します。

この誓約の内容と事実が反することが判明した場合は、当該事実に関して福岡県が行う一切の措置に対して異議の申立てを行いません。

また、福岡県産科医等確保支援事業費補助金の交付決定後にこの誓約の内容と事実が反することが判明し、交付決定の全部又は一部が取り消された場合には、福岡県に対し、当該補助金の全部又は一部を返還します。

なお、この誓約書の内容について、福岡県が福岡県警察本部に照会することを承諾します。

記

- 1 申請者は、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団ではありません。
2 申請者は、法第2条第6号に規定する暴力団員が役員等になっている団体ではありません。
3 申請者は、暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者が役員等になっている団体ではありません。
4 申請者及び申請者の役員等は、次に掲げる暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する団体ではありません。
(1) 暴力団員が事業主又は役員に就任している団体
(2) 暴力団員が実質的に運営している団体
(3) 暴力団員であることを知りながら、その者を雇用し、又は使用している団体
(4) 契約の相手方が暴力団員であることを知りながら、その者と商取引に係る契約を締結している団体
(5) 暴力団又は暴力団員に対して経済上の利益又は
(6) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難される関係
5 申請者が実施する事業(事業の準備を含む。)により、が実施する暴力団の排除に関する施策に協力します。
6 上記のほか、関係法令を遵守するとともに、暴力団の排除を推進し、県民の安全で平穏な生活の確保及び福岡県における社会経済活動の健全な発展に寄与します。

法人の代表者、役員全員を記載ください。必要に応じて記入欄を増減して構いません。別紙様式「役員名簿」にも転記してください。

役員一覧

Table with 5 columns: 役職名, (ふりがな)氏名, 性別, 住所(都道府県名), 生年月日. Includes entries for 開設者 or 理事長 and 理事.

※役員全員を記載すること

